

Lesson 2

■ 8分音符について

8分音符はロックなどにとっても良く使われるリズムで、4分音符の倍の速さになります。巷で「8ビート」と呼ばれるグループには必要不可欠で、これから先、非常に重要になってきます。いつものように口でカウントを取りながら弾きましょう。

4分音符 「 1 2 3 4 」

8分音符 「 1 と 2 と 3 と 4 と 」

と数える事で、自然に4分音符と8分音符のリズムの違いに慣れてきます。ただし、難しい点がひとつ。足は常に4分音符に合わせて踏みます。もしリズムが分からなくなったら、スピードを遅くしていつもより大声で叫びましょう。

EX-1 : 4分音符と8分音符

練習：1弦から6弦まで続けて弾いてみましょう。1の指を離さないように注意！

EX-2 : 4分音符と8分音符を交えたフレーズ

人差し指は常に指先を4弦に触れさせましょう。

■ ブリッジミュートについて

ブリッジミュートとは右手のはじをブリッジのすぐ側に置いて弾きます。

「ミュート(M)」と省略したり、「パームミュート(P.M)」と表記される事があります。

少しでも左に寄って行くと弦の振動を消しすぎてしまい、かっこ悪い音になりますので気を付けましょう。

EX-3 : 低音弦のブリッジミュート

ブリッジミュートとピッキングのタイミングがずれないように気を付けましょう。

Etude 2-2

パワーコードとブリッジミュート

パワーコードとブリッジミュートは切っても切り離せない関係で、エレキギターを弾く上で最も重要なテクニックのひとつです。これが自由に使いこなせれば何百もの曲のバックアップができます。ちなみにここで練習している2本弦のパワーコードは、ブラックサバスのトニー・アイオミというギタリストが非常に多く使用しています。弦を押さえる右手(彼は左利きです)の中指と薬指を切断してしまったハンディを克服し、このコードのリフを主体とした独特の雰囲気のある楽曲で、世界中の人々にリスペクトされるギタリストになりました。

この技をマスターしたあなたは、よりたくさんの曲が弾けるようになります。どんどん挑戦してみましょう！